

競技上の注意・諸連絡

第16回 全国中学選抜卓球大会
審判長 中村喜和

本大会は平成26年4月1日改定の日本卓球ルールとプログラムに掲載された大会要項・競技上の注意、開催地主管団体からの諸連絡事項に基づいて行います。

1. マッチと大会使用球について

11ポイント（点）制の5ゲームスマッチ（試合）で行い、サービスは2ポイント交代とします。大会使用球は40ミリメートルの日本卓球協会公認のホワイトボール（セルロイド製またはプラスチック製）とします。

2. 競技方法について

団体戦（4シングルス・1ダブルスの6名制で3番目にダブルスを行います）は3チームずつを1グループとした16グループに分けた第1ステージ（リーグ戦方式）と各グループの順位別（1位・2位・3位）による第2ステージ（トーナメント戦方式）とで行います。第1ステージは3点先取法ではなく、5番まですべてのマッチを行い、すべてのマッチ結果が勝敗に関係があります。第2ステージは3点先取法で行います。団体戦のベンチに入ることができるのはその中学校に在籍し登録している生徒（選手8名以内）および監督・アドバイザーだけです。

3. 競技服装について

競技服装は半袖シャツ、ショーツまたはスカートとします。在籍している中学校名入りのゼッケン（平成26年度日本卓球協会指定のもの）を背中の中真ん中に着用してください。団体戦は同じ服装が必要ですが、その色はボールの色にかかわらず任意とします。

4. ラケット・ラバーについて

ルールに適合したラケット・ラバーでマッチに臨むことは選手自身の責任です。ラバーはラケット本体より大きかったり、小さかったり、そして厚かったり、平坦性に欠けていたりしてはいけません。また、日本卓球協会が公認していない外国製のラケット本体を大会で使用する場合は審判長に事前に使用許可を受けてください。

5. ラバーの張り替えについて

ラバーを張り替える必要が生じたときは日本卓球協会が公認した接着剤で指定された場所で張り替えてください。その場合、競技の進行に支障をきたさないよう十分に注意してください。

6. プレーの継続性について

マッチ中、プレーは継続されなければなりません。プレーとプレーの間は時間をとらないよう気をつけてください。間合いをとりすぎるとバッドマナーとして扱います。汗を拭くためのタオルの使用は6ポイントごとのチェンジサービスのときに、サービスが1ポイントごとになったときも6ポイントごとに行い、またファイナルゲームのチェンジエンドのときも許可されます。

7. アドバイスについて

選手がアドバイスを受けることができるのはゲーム間の1分以内の休憩時間やタイムアウトの要求が認められたとき、そして認められた競技の緊急中断のときだけとします。このとき、選手はプレー領域の3m以内にとどまらなければなりません。マッチ開始直前の2分間の練習の後にはアドバイスを受けることはできません。また、この規定時間以外にマッチ中はベンチや観覧席からの声やジェスチャー・サイン等で指示・アドバイスを受けてはいけません。

8. 抗議権について

抗議権は団体戦の場合は監督にあります。アドバイザーには抗議権はありません。

9. オーダー提出とタイムテーブルについて

団体戦のオーダー交換は両チームがコートに整列した時点で行ってください。いったん提出したオーダーは変更できません。タイムテーブルの時刻は競技開始時刻とします。競技の進行の状況により、タイムテーブルが変更になる場合もあります。複数台を使用して行う場合があります。あらかじめご了承ください。

10. タイムアウトについて

1マッチに1回、1分以内でタイムアウトを要求することができます。複数台を使用する場合は団体戦でベンチ入りしているアドバイザーもタイムアウトを要求することができます。

11. 促進ルールについて

促進ルールは両方の選手または組からの要請があった場合やゲーム開始後10分経過しても終了しない場合に適用されます。ただし、両方の選手または組のポイントスコアの合計が少なくとも18ポイントに達した場合には促進ルールは適用されません。次のゲームも自動的に促進ルールは適用されません。

12. マッチ開始直前の練習等について

マッチ開始直前に2分間を限度としてそのマッチで使用するテーブルで練習できますが、正規の休憩時間には練習できません。

13. 試合開始・終了時について

試合開始前に整列した時、両チームは礼をして監督は握手をしてください。終了後に整列した時も礼をして監督は握手をし、お互いの健闘を讃え合ってください。このあと、さらに相手ベンチに移動しての挨拶は控えてください。

14. ベンチについて

ベンチは基本的にチームナンバーの小さいチームをステージ側とします。ただし、試合が続くときはそのまま替わらないこととします。

15. 入賞について

各グループの順位別（1位・2位・3位）による第2ステージ（トーナメント戦方式）のベスト4以上を入賞とし、賞状等を授与します。なお1位トーナメント表彰は閉会式にて、2位・3位トーナメント表彰は随時行います。

なお、第1ステージ各ブロックの1位チームを表彰します。（第1ステージ終了後、随時表彰を行います。）